

令和 7 年 6 月 10 日

大阪府薬剤師会

会長 乾 英夫 様

一般社団法人 薬学教育協議会

病院・薬局実務実習近畿地区調整機構

委員長 名徳 倫明

(公印省略)

実務実習に関するアンケート調査のお願い

拝啓 梅雨の候 ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素は薬学生の教育で格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、薬学教育協議会より今後の実務実習の改善と充実を目的とし実務実習に関するアンケート調査を行うこととなりました。対象は、昨年度令和 6 (2024) 年度に薬学生を受入れた医療提供施設（薬局または病院）で指導にあたられた薬剤師の皆様です。

本調査の依頼状および調査書類等は、近畿地区調整機構から各実習受入施設様に直接ご案内をさせていただきます。

回答要領をご確認いただき WEB 上での回答をお願いする調査であることを申し添えます。

ご多忙の折、大変恐縮ですが薬学実務実習の内容の充実と質向上のため、是非ともご協力の程お願い申し上げます。

薬教協発第 25027 号

令和 7 年 7 月吉日

令和 6 年度に薬学生を受入れた
医療提供施設の指導薬剤師 各位

一般社団法人薬学教育協議会
代表理事 本間 浩
実務実習ガイドライン改訂 WG
委員長 鈴木 匡
(公印省略)

実務実習に関するアンケート調査のお願い（依頼）

拝啓 平素より薬学教育にご尽力いただき、厚く御礼申し上げます。

このたび、今後の実務実習の改善と充実を目的とし、薬学教育協議会で実務実習に関するアンケート調査を行うこととなりました。対象は、令和 6 (2024) 年度に薬学生を受入れた医療提供施設（薬局または病院）で指導にあたられた薬剤師の皆様です（1 施設から 1 名の回答でお願いします）。回答にあたってのご参考として、質問内容全体が分かる資料も合わせてお送りします。

本調査は匿名で実施され、回答内容から施設が特定されることはありません。いただいたご意見は、薬学教育協議会が実務実習の更なる充実と向上のために活用し、他の目的で使用することはありません。業務に大変お忙しいこととは存じますが、趣旨をご理解いただき、是非ともご協力賜りますようお願い申し上げます。

調査概要

【対象者】

令和 6 (2024) 年度に薬学生を受入れた医療提供施設の指導薬剤師
(主に、認定実務実習指導薬剤師)

【回答期限】

令和 7 年 8 月 15 日（金）

【回答方法】

以下の URL サイトからアクセスし、実習の指導経験に基づいてご回答ください。

※回答の途中で保存ができませんのでご注意ください。

【アンケート回答 URL】

<https://forms.gle/krx7MpQNw8aqiuV56>

■ アンケートに関する問い合わせ先 ■

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 2-12-15 日本薬学会長井記念館 4F
一般社団法人薬学教育協議会 事務局

e-mail: cpe-enquete@yaku-kyou.org

*お問い合わせはメールにてお願い致します。

<薬学実務実習に関するアンケート（施設向け）>

実際の回答は、以下のサイトからお願いします。

<https://forms.gle/krx7MpQNw8aqiuV56>

1. 貴施設について

1－1. 貴施設について、該当するものをお選びください。※

(a) 薬局 (b) 病院

1－2－1. 1-1で(a) 薬局を選んだ場合、ご回答ください。どのような機能を有する薬局でしょうか。該当するものを全てお選びください。（複数回答可）

(a) 健康サポート薬局 (b) 地域連携薬局 (c) 専門医療機関連携薬局
(d) (a)～(c)には該当しない

1－2－2. 1-1で(a) 薬局を選んだ場合、ご回答ください。貴薬局の一日あたりの勤務薬剤師数と薬剤師以外のスタッフ数を記入してください。

薬剤師（ ）名 薬剤師以外のスタッフ（ ）名

1－2－3. 1-1で(a) 薬局を選んだ場合、ご回答ください。貴薬局の一日あたりの取り扱い処方箋枚数をお選びください。

(a) 0～50 (b) 51～100 (c) 101～150 (d) 151～200 (e) 200以上

1－3－1. 1-1で(b) 病院を選んだ場合、ご回答ください。どのような機能を有する病院でしょうか。該当するものを全てお選びください。（複数回答可）

(a) 高度急性期機能 (b) 急性期機能 (c) 回復期機能 (d) 慢性期機能

1－3－2. 1-1で(b) 病院を選んだ場合、ご回答ください。貴病院について該当するものを全てお選びください。（複数回答可）

(a) 国公立大学病院 (b) 私立大学病院 (c) 薬学部を持つ大学病院 (d) 大学病院ではない

1－3－3. 1-1で(b) 病院を選んだ場合、ご回答ください。貴病院の在籍薬剤師数（常勤、非常勤）を記入してください。

常勤薬剤師（ ）名 非常勤薬剤師（ ）名

1－3－4. 1-1で(b) 病院を選んだ場合、ご回答ください。貴院の病床数をお選びください。

(a) 0～99 (b) 100～199 (c) 200～399 (d) 400～599 (e) 600以上

1－4. 貴施設の名称をご記入ください。（任意）

--

2. 貴施設の所在地区について、該当するものをお選びください。※

(a) 北海道 (b) 東北 (c) 関東 (d) 北陸 (e) 東海 (f) 近畿 (g) 中国・四国 (h) 九州・山口

該当する都道府県

北海道（北海道）	東北（青森、秋田、山形、岩手、宮城、福島）
関東（茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、新潟、山梨、長野）	北陸（富山、石川、福井）
東海（静岡、愛知、岐阜、三重）	近畿（滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山）
中国・四国（鳥取、島根、岡山、広島、徳島、愛媛、香川、高知）	
九州・山口（山口、福岡、佐賀、長崎、大分、宮崎、熊本、鹿児島、沖縄）	

3. 年間の実習生受け入れ人数について

3－1. 2024年度、受け入れた実習生を各期ごとにご記入ください。

(a) 第Ⅰ期（ ）名 (b) 第Ⅱ期（ ）名 (c) 第Ⅲ期（ ）名 (d) 第Ⅳ期（ ）名

- 3－2．2024年度、受け入れた大学数を各期ごとにご記入ください。
- (a) 第Ⅰ期 () 大学 (b) 第Ⅱ期 () 大学 (c) 第Ⅲ期 () 大学 (d) 第Ⅳ期 () 大学
- 3－3．2024年度、年間の合計受入大学数をご記入ください（延べ数ではない）。
- () 大学

4．施設と大学との連携について（実習開始前）

- 4－1．**実習開始前**、施設と大学との間で、実習生に関する情報共有はどのように行われましたか。（複数回答可）
- (e) を選択した場合、具体的な内容をご記入ください。
- (a) 現地訪問による実施 (b) ZoomなどのWebを用いて実施
- (c) メール、実習WEBシステムなどを用いて実施 (d) 実施していない
- (e) その他の方法
-

- 4－2－1．大学で実務実習前に行った教育（モデル・コアカリキュラム「F薬学臨床」の到達目標のうち、実務実習の履修前に習得すべき事項として提示された「前」の目標修得を目的に行われた大学での教育）の内容と学生の到達度を大学からどのように提示されましたか。現状に近いものをお選びください。（複数回答可）
- (d) を選択した場合、具体的な内容をご記入ください。
- (a) 大学から直接提示された (b) 実習生を通じて提示された
- (c) 施設から依頼をして提示された (d) 提示されなかった
- (d) その他の方法
-

- 4－2－2．大学で実務実習前に行った教育内容と実習生の到達度の提示について問題点・課題があれば箇条書きでご記入ください。
-

- 4－3．実務実習実施計画書の第2)項、大学での学修状況、大学での学修内容の概略、大学での事前学修の到達レベル、修得内容の自己評価、薬局および病院実習における自己目標について、情報共有されているものを回答してください。（複数回答可）
- (a) 大学での学修状況 (b) 大学での学修内容の概略 (c) 大学での事前学修の到達レベル
- (d) 修得内容の自己評価 (e) 薬局/病院実習における自己評価 (f) 情報共有されていない

5．施設と大学との連携について（実習中）

- 5－1．**実習開始後**、施設と大学との間で、実習生に関する情報共有はどのように行われましたか。（複数回答可）
- (e) を選択した場合、具体的な内容をご記入ください。
- (a) 現地訪問による実施 (b) ZoomなどのWebを用いて実施
- (c) メール、実習WEBシステムなどを用いて実施 (d) 実施していない
- (e) その他の方法
-

- 5－2－1．**実習期間中**に実務実習実施計画書に基づいた実習を行なっているかを大学と確認して情報共有を行い、当該実習に活用しましたか。（複数回答可）
- (d) を選択した場合、具体的な内容をご記入ください。
- (a) 計画書に従って実習を行っているかを確認して、大学と協議し実習に活用した
- (b) 計画書に従って実習を行っているかを確認したが、大学との協議などは行わず特に活用しなかった
- (c) 計画書に従って実習を行っているか確認しなかった
- (d) その他
-

6－3．実習における評価や報告の共有について工夫している点があれば箇条書きでご記入ください。

6－4．実習における評価や報告の共有について問題点や課題があれば箇条書きでご記入ください。

7．トラブル・ハラスメントについて

7－1．実習期間中にトラブル・ハラスメントと想定される事態がありましたか。

- (a) たびたびあった (b) たまにあった (c) ほぼなかった (d) なかった

7－2．7-1で「(a)たびたびあった」、「(b)たまにあった」と回答した場合、どのような内容でしたか。

簡潔にご記入ください。

7－3．7-1で「(a)たびたびあった」、「(b)たまにあった」と回答した場合、誰かに相談や協議しましたか。

(e) その他 を選択した場合、誰に相談したかご記入ください。

- (a) 大学の教員（実習担当教員） (b) 地区調整機構の担当者
(c) 薬剤師会、病院薬剤師会など (d) 相談や協議はしていない
(e) その他

7－4．対応は満足できるものでしたか。

- (a) 非常に満足している (b) どちらかという満足している (c) やや不満である (d) 非常に不満である

7－5．トラブル・ハラスメント対応で工夫していることがあれば箇条書きでご記入ください。

7－6．トラブル・ハラスメント対応で問題点や課題があれば箇条書きでご記入ください。

8．実習内容について

8－1．実務実習において、**貴施設での平均的な実習生**の到達度はどの程度と感じますか。以下の項目について、それぞれ該当するものをお選びください。

(1) 臨床における心構え

- (a) 十分に到達できた (b) 到達できた (c) やや到達できた (d) どちらともいえない
(e) やや到達できない (f) 到達できない (g) 全く到達できない

(2) 処方箋と疑義照会

- (a) 十分に到達できた (b) 到達できた (c) やや到達できた (d) どちらともいえない
(e) やや到達できない (f) 到達できない (g) 全く到達できない

(3) 処方箋に基づく医薬品の調製

- (a) 十分に到達できた (b) 到達できた (c) やや到達できた (d) どちらともいえない
(e) やや到達できない (f) 到達できない (g) 全く到達できない

- (4) 患者・来客者対応、服薬指導、患者教育
- (a) 十分に到達できた (b) 到達できた (c) やや到達できた (d) どちらともいえない
(e) やや到達できない (f) 到達できない (g) 全く到達できない
- (5) 医薬品の供給と管理
- (a) 十分に到達できた (b) 到達できた (c) やや到達できた (d) どちらともいえない
(e) やや到達できない (f) 到達できない (g) 全く到達できない
- (6) 安全管理
- (a) 十分に到達できた (b) 到達できた (c) やや到達できた (d) どちらともいえない
(e) やや到達できない (f) 到達できない (g) 全く到達できない
- (7) 患者情報の把握
- (a) 十分に到達できた (b) 到達できた (c) やや到達できた (d) どちらともいえない
(e) やや到達できない (f) 到達できない (g) 全く到達できない
- (8) 医薬品情報の収集と活用
- (a) 十分に到達できた (b) 到達できた (c) やや到達できた (d) どちらともいえない
(e) やや到達できない (f) 到達できない (g) 全く到達できない
- (9) 処方設計と薬物療法の実践（処方設計と提案）
- (a) 十分に到達できた (b) 到達できた (c) やや到達できた (d) どちらともいえない
(e) やや到達できない (f) 到達できない (g) 全く到達できない
- (10) 処方設計と薬物療法の実践（薬物療法における効果と副作用の評価）
- (a) 十分に到達できた (b) 到達できた (c) やや到達できた (d) どちらともいえない
(e) やや到達できない (f) 到達できない (g) 全く到達できない
- (11) 医療機関におけるチーム医療
- (a) 十分に到達できた (b) 到達できた (c) やや到達できた (d) どちらともいえない
(e) やや到達できない (f) 到達できない (g) 全く到達できない
- (12) 地域におけるチーム医療
- (a) 十分に到達できた (b) 到達できた (c) やや到達できた (d) どちらともいえない
(e) やや到達できない (f) 到達できない (g) 全く到達できない
- (13) 在宅（訪問）医療・介護への参画
- (a) 十分に到達できた (b) 到達できた (c) やや到達できた (d) どちらともいえない
(e) やや到達できない (f) 到達できない (g) 全く到達できない
- (14) 地域保健（公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動）への参画
- (a) 十分に到達できた (b) 到達できた (c) やや到達できた (d) どちらともいえない
(e) やや到達できない (f) 到達できない (g) 全く到達できない
- (15) プライマリケア、セルフメディケーションの実践
- (a) 十分に到達できた (b) 到達できた (c) やや到達できた (d) どちらともいえない
(e) やや到達できない (f) 到達できない (g) 全く到達できない
- (16) 災害時医療と薬剤師
- (a) 十分に到達できた (b) 到達できた (c) やや到達できた (d) どちらともいえない
(e) やや到達できない (f) 到達できない (g) 全く到達できない

8－2．実習内容として不足していると感じる内容は何ですか。以下の項目よりお選びください。（複数回答可）

- (a) 臨床における心構え (b) 処方箋と疑義照会 (c) 処方箋に基づく医薬品の調製
(d) 患者・来客者対応、服薬指導、患者教育 (e) 医薬品の供給と管理 (f) 安全管理
(g) 患者情報の把握 (h) 医薬品情報の収集と活用 (i) 処方設計と薬物療法の実践（処方設計と提案）
(j) 処方設計と薬物療法の実践（薬物療法における効果と副作用の評価） (k) 医療機関におけるチーム医療
(L) 地域におけるチーム医療 (m) 在宅（訪問）医療・介護への参画
(n) 地域保健（公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動）への参画 (o) プライマリケア、セルフメディケーションの実践
(p) 災害時医療と薬剤師
(q) その他

8－3．実務開始前に特に修得しておいてほしい内容はなんですか。以下の項目よりお選びください。（複数回答可）

- (a) 臨床における心構え (b) 処方箋と疑義照会 (c) 処方箋に基づく医薬品の調製
(d) 患者・来客者対応、服薬指導、患者教育 (e) 医薬品の供給と管理 (f) 安全管理
(g) 患者情報の把握 (h) 医薬品情報の収集と活用 (i) 処方設計と薬物療法の実践（処方設計と提案）
(j) 処方設計と薬物療法の実践（薬物療法における効果と副作用の評価） (k) 医療機関におけるチーム医療
(L) 地域におけるチーム医療 (m) 在宅（訪問）医療・介護への参画
(n) 地域保健（公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動）への参画 (o) プライマリケア、セルフメディケーションの実践
(p) 災害時医療と薬剤師
(q) その他

8－4．貴施設実習中に各実習生がその人の薬物治療に十分に（薬物治療の評価、情報収集・提供など）関わることのできる患者は何人くらいですか

- (a) 0人 (b) 1～5人 (c) 6～10人 (d) 11～19人 (e) 20人以上

8－5．貴施設実習中に実習生が患者の薬物治療に十分に関わることのできる疾患をすべてお選びください。（複数回答可）

- (a) がん (b) 高血圧症 (c) 糖尿病 (d) 心疾患 (e) 脳血管障害 (f) 精神神経疾患
(g) 免疫・アレルギー疾患 (h) 感染症 (i) 小児科疾患 (j) その他（疾患名： ）

8－6．貴施設の実習で実習生のために特別に工夫したり、経験させている内容があれば記載ください。

9．実習中の到達度評価について

9－1．実習期間中に何回評価を実施しましたか。平均して実習生一人当たりの回数をご記入ください。

（ ）回

9－2．評価は実習生と一緒に行いましたか。

- (a) 一緒に行なった (b) 時々一緒に行なった (c) あまり一緒には行わなかった (d) 一緒には行わなかった

9－3．実習生を正しく評価できていると思いますか。

- (a) 正しく評価できている (b) 大体できている (c) 上手くできていない (d) 全くできていない

9－4．評価は、実習生の成長に役立っていると感じますか。

- (a) 役に立っていると感じる (b) どちらかという役に立っていると感じる
(c) どちらかという役に立っていないと感じる (d) 役に立っていないと感じる

10. 実務実習の課題・要望がございましたら、ご記入ください。

ご協力いただきありがとうございました。